

月刊「にじのはし」51号 (令和3年9月号)

夏休みの延長や分散登校、オンライン授業など、ご本人にもご家族にも、ご負担の多い2学期開始となりました。れいんぼーのお迎えの調整にもご協力頂き、ありがとうございます。まだまだ見通しは不透明ですが、基本の感染対策を継続して徹底しつつ、充実した時間を過ごして頂けるように努めます。

さて、今号では、8月の活動の様子を振り返ります。お楽しみ会や実験、じっくりと取り組む工作や料理など、夏休みの時間を活かした活動をご紹介します。どうぞお楽しみください。



8月のお誕生日会

8月23日(月)に、8月生まれの4名のお誕生日会を開催しました。

「なにがでるかな」では、転がしたサイコロが的でぴたり止まって歓声が上がったり、質問に答える子は、絵を指差して答えたり、「ジャンプ」を選んで別の質問に飛んだり、主役も参加者も楽しく交流しました。

誕生日会のゲームは、室内でするカーリング、「カローリング」をしました。床に描かれた的にめがけて、段ボールで作ったストーンを滑らせ、3回の合計得点で競いました。相手のストーンに当てて押し出したり、逆に押されて高得点になったりと、楽しく盛り上がりました。会の後は、主役の子がもらったフォトブックをみんなで見たり、家族との誕生日の過ごし方やプレゼントについて話したりと、会話がはずみました。



納涼お楽しみ会

8月18日(水)・19日(木)は連続でお楽しみ会を開催しました。お菓子はかりや型抜き、そして一番人気のスーパーボールすくいに、真剣な表情で取り組みました。おやつは綿菓子やかき氷、ラムネを楽しみました。浴衣を着て来た子もいて、お祭り気分を味わいました。



8月の活動プログラムより



8月の**工作プログラム**は、LEDライトに和紙を巻き付け、カラーセロファンを切り抜いて飾り付けたゆめいろランプを作りました。カラーセロファンを複雑な形にカットしたり、吊り下げタイプにするなど、思い思いのオリジナルランプができあがりました。ベッドの横に置きたいなどと話しながら、大切に持って帰りました。

料理プログラムでは、イースト菌を使って発酵させる工程から始める





れいんぼー



本格的な手作りパンを作りました。発酵の適温を維持するため、職員室は暖房を入れて蒸し風呂状態でしたが、ふかふかにふくらんだパン生地に歓声があがりました。それぞれウィナーをはさんでウィナーパンにする子、そのままジャムをつける子、それぞれ満足度の高いおやつが出来上がりました。



また、この夏休みは初めての実験プログラムを実施しました。今回は、スライムってなんでぶにぶになの？というお題で、それぞれの材料がどのように反応してスライムができるかを学び、実際に作ってみました。理科や化学に興味を持つきっかけになればと思います。



英語プログラムは、Treasure Hunt (宝探し)で、自分や他の子の宝物を見つけて、それが誰の宝物かということを用意（誰の）という表現を使って伝える体験をしました。宝物を探したり、隠したりする遊びを通じて英語のフレーズに自然に触れる機会を持つことができました。



音楽プログラムは、フォークダンスのマイムマイムのダンスにチャレンジしました。マイムマイムは砂漠で水（マイム）ごいをする民族舞踊ですが、何度も繰り返して踊ると息も上がり、踊り終わったら、みんなで笑いながら「水～」と言いながら水筒を取りに行きました。



ドラムレッスンは、先月から導入したゴムマットを使った基本のリズムレッスンをグループで行いました。ゲーム大会・運動プログラムでは、スプーンリレーや綱渡りじゃんけんなど、動きながら交流できる遊びを色々楽しみました。自由あそびでは、ミニチュアハーバリウムやUVレジンを使った宝石づくり、月と星のペンダントトップなど、クラフト系の活動をしたり、工作箱から箱や紙コップを選んで色々な作品を作りました。粘土でミニチュアのおかずを作ってお弁当箱を作ったり、自分だけの多機能ノートを作るなど、素敵な作品がたくさんできました。また、何人かで協力して長いドミノを作ったり、野球盤や人生ゲーム、ジェンガやカードゲームなど、多彩な遊びを楽しみました。

